

帝京大フィールドワーク、なな山で

第1回 帝京大学大学院教職研究科「地球・生命・環境と人類」

2016年5月13日10時45～12時45分(昼食を含む)、帝京大学大学院教職研究科(教職大学院)三石初雄教授の学生3人とその他、呼びかけで集まった5人の計8人の学生と文学部教育学科臼田秀明教授の合計10人がなな山緑地に集合。当会からは相田の他に正岡さん、比留間さんが対応に当たる。

授業は「地球・生命・環境と人類」についてのフィールドワーク、という壮大なテーマとなっていた。要求された内容は、
・なな山緑地の会の成り立ちと、保全と管理について
・なな山緑地の魅力、植物と動物
・地域の人の暮らし
・里山と現代の人間(里山の重要性)

であった。案内と解説をすべて任されたので、グリーンボランティア講座と同じ要領で、ほぼ緑地全体を観察した。要求された内容はすべて網羅していたと思う。

臼田教授からは「小生は環境の話を、『孫の世代まで恵まれた地球を残す』という視点から話しています。皆さんの地に足の着いた雑木林の保全は、多くの人に自然循環を肌で感じさせる貴重な場を与えていることに感服しました」と。三石教授からは「参加者一同、こんなに近くの里山が、こんなに豊かな自然・生物多様性を保っていること、そこ人間との関わり方の重要性、ポイントを学んだということ



緑地内の観察をする学生たち

第2回 帝京大学人文社会系教養科目「多摩の里山と人の営み」

2016年5月20日10時～12時15分、甲野先生と参加者(途中参加を含め)25人、当会からは、高木さん、大井さん、正岡さんが対応。

あらかじめ設定された観察ポイント4か所、設問か所5か所設問の内容は

- A. なぜ材木が並べられているのでしょうか(シイタケのホダギ立てかけ地)。
- B. 周りを見ると、二株の樹木と、一株の樹木があります。どうしてこのように分かれるのでしょうか(萌芽更新)。

C. このあたりは、見通しがよくありません。どうしてでしょう(常緑樹)。

D. 足元を見てみると、色々な草花があります。誰かが植えたのか。それとも、どうしてでしょう。

E. 落ち葉が固められて捨てられた?何のためにあるのでしょうか。

観察は、その地点の断面をイラストとして描き色をつける。設問には数行の理由を述べるというユニークさ。

最後に私が、その回答を含めた緑地全体の話をして、締めくくりました。



設問A

第3回 帝京大学なな山緑地での研修会「メカイづくり」

2016年5月27日、帝京大学人文社会系教養科目としてなな山でのシノダケ細工が予定されたが、雨天のため大学教室にてメカイ体験として、ヒネを使ってコースター編みを行う。あらかじめ、雨天を予想して45人分のヒネを、相田とめかいクラブで準備しておいた。1人当たり18本のヒネを輪ゴムで束ね、前日から水に浸しておく。

教室では、「里山の暮らし」をテーマに、20分ほど相田が話し、その中で多摩のメカイづくりの持つ意味を含める。コースターづくりの手順を説明して、皆さんにヒネ編みを実践してもらう。35人ほどの出席者だが、やはり個別の指導が必要になった。相田一人ですべてこ舞いだが、1時間ほどで半数は形になったが、何回やり直しをしてもまらないものも何人かはいた。

現物のヒネを使って、手先を使い、頭を使い、単純ではあるが手ごわい相手と短時間ではあるが真剣に(講師の話で、これほど真剣に取り組む姿は初めてみるとのこと)向き合ったことに大きな意義があったと思う。

何人かは、なな山緑地の活動に大いに関心を向けており、今後に期待することができた。(相田)



ヒネでコースターを編む

なな山でポケモンさがし

庄子元

グリーンボランティア初級講座を修了したあと、なな山緑地の会に加入したのは、「緑を守り育む」という姿勢よりも単純に個人的な思惑でした。体を動かして日頃の運動不足を少しでも解消できれば……、それが緑の中なら新鮮な空気に触れて健康にもよいはず、しかも会員が多いので負担も少ない……という身勝手な思いです。仕事から長時間に及び画面との睨めっこで、肩凝りとメタボへの対策を意識する毎日です。ちなみに画面と睨めっこして勝ったためしはありません。

なな山に参加した理由はほかにもあります。実は活動がダイエットに効果的なのでは？と密かに期待していました。確かに活動日は一万三千歩ほど歩き回り、体重が1キロ落ちる。毎回、体組成計を期待を込めて見る。1日で1キロ減となればかなりの効果。ほくそ笑んでいますが、残念ながら翌日には元に戻ってしまい、まだ減量に結びついていません。ときにリバウンドで増量します。1カ月2日の活動では虫がよすぎるかもしれません。

最近のマイブームは、スマホゲーム「ポケモン GO」。ポケモンは、子どもが小さい頃一緒にあってゲームボーイで楽しみましたが、そのゲームの世界が現実になり置き換わったところが画期的です。AR（仮想現実）という技術がうまく使われています。カセットゲームとの違いは、レベルアップに仕掛けがないこと。



出歩くときは、散歩の友よろしくスマホを持ち歩き、マークされた場所を訪ね、ポケモンを捕まえています。どこを歩いてもよいのですが、人寂しい住宅街や田舎ではポケモンが出てきません。なな山緑地も入り口の地図と丸太の看板がマークされ、写真が出てきますが、山の中を歩いてもポケモン一匹現れません。駅周辺や公園、観光地など、人が行き交う場所は出現する頻度が高いのが特徴。ダウンロード初日、職場近くの公園に出掛けたら、高校生や大学生とおぼしき若者が数人ずつスマホを手にして歩き回っている光景を見て驚きました。一瞬、カセットゲームの世界がリアルの世界に置き換わったと錯覚し身震いしました。ポケモンが孫と共通の話題になり、話がつきないのが嬉しい！「永山駅近くの諏訪第一公園でピカチュウつかまえたよ」と教えてあげたら、孫から「スグエー！」の言葉。1歳半の孫は「ピカッ！ピカッ！」と言って画面を叩きます。



ゴンズイ

永田 美夫

「親父こそ自分のことが一番わかってないじゃないか！」ちょっとした諍いのはてに、こう言い放って家を飛び出した息子の後姿をにらみつけながら、握りしめた拳をふるわせてN氏は立ち尽くしていた。

“自分の事は自分が一番わかっている”と、鼻息荒くわが道を歩んできたN氏。だが、実はそれもどうやら勘違いだったと、心ひそかに思い始めていた矢先の痛烈な捨て台詞。

古来稀なりと云われている年齢（よわい）を目前にしてそれを認めるのは、かなり辛いことである。

視線の先には暗紅色の実をつけた樹が雑木林の中で秋の雨に濡れてくすんでいる。

「ゴンズイ」なまず目の海水魚。背鰭と腹鰭に毒棘を持ち、釣り人からは外道と忌み嫌われる。「ゴンズイ」ミツバウツギ科の落葉性小高木。牧野富太郎博士は「役に立たないところから魚のゴンズイの名前が当てられた」と説いている。



ナマズ目 ゴンズイ

妻は20年も前にさっさとあの世に逃げて行ってしまった。晩（おそ）くに生まれた一人息子は家に引きこもっている。会社を定年退職してからは、近隣との付き合いもなく、話相手もほとんどいない。

鬼の部長として部下を叱り飛ばしていたかつての企業戦士も、一介の老爺となってしまうえば濡れ落ち葉にひとしい。次の日、朝から秋晴れとなった。

深夜に帰ってきた息子が起きてきて、玄関前のN氏の隣に立つ。

「きのうは言い過ぎた。ごめんな」

「ああ？うん」

ぎこちなく仲直りをする親子。

秋の陽に照らされたゴンズイの実、鮮やかに輝いてルビーの房のようだ。

「こうやってみると、結構きれいじゃん」

「魚の方も食えば旨いそうだ。今度釣りにでもいくか」

「うん・いいね」

久しぶりに父子のおだやかな会話が続いている。

●ゴンズイの花言葉：一芸に秀でる●



No.291 2016年 4月24日(日) 雨 気温14℃ 参加者 18人 雨のため本日は園内の植物観察。 ● 作業/ 標本用植物採集。 粗朶置場整備。 ● 観察/キンラン、ギンラン、エビネ、オドリコソウなど43種類の植物を観察。		No.292 2016年 5月 8日(日) 晴れ 気温24℃ 参加者 27人 「なな山だより 37号」配布。水倉さん入会。 蜂トラップに57匹入っていた。うち女王蜂は5匹。 ● 作業/法面奥の草刈り。蜂トラップ回収、観察し再設置。運搬機用の車庫作り。ジャガイモ畑の土寄せと施肥、サツマイモの畝立と施肥。チェンソー整備。標本用植物採集。 ● 観察/アマドコロ、ヒイラギナンテン、フタリシズカ。	
No.293 2016年 5月22日(日) 晴れ 気温25℃ 参加者 24人 皆が力を発揮した、活動日。安全対策の周知。 ● 作業/バス道路脇の草刈りと清掃。車庫作り。スイカ苗に藁置き。カボチャ苗植付け。ニラ収穫。標本用植物採集。 ● 観察/ドクダミ、スイカズラ、キウイフルーツ。		No.294 2016年 6月12日(日) 晴れ 気温28℃ 参加者 26人 待望の運搬機が納車された。取扱いの講習を皆で受ける。 ● 作業/運搬機の試運転。法面草刈り。ホダ木の本伏せ。蜂トラップの回収。標本用植物採集。 ● 観察/、オオバジャノヒゲ。イチヤクソウ、コ克蘭(蕾)	
No.295 2016年 6月26日(日) 晴れ 気温25℃ 参加者 24人 ジャガイモの試食。生まれたばかりのカブトムが姿を見せた。6/1に植物標本100点を牧野標本館へ納めた。 ● 作業/法面と中の谷の草刈り。ジャガイモとニラの収穫。シガラの作り直し。標本用植物採集。 ● 観察/コ克蘭、オカトラノオ。		No.296 2016年 7月10日(日) 晴れ 気温27℃ 参加者 24人 水分をこまめに取りながらの作業。 ● 作業/刈払機、チェンソーの点検。中の谷の草刈り。丸シガラの作替え。車庫の屋根波板取付け。運搬機の使用訓練。標本用植物採集。なな山の看板を新調し設置。 ● 観察/オオバギボウシ、ヒメヒオウギズイセン、エゴノキの虫こぶ(エゴノネコアシフシ)。	
No.297 2016年 7月24日(日) 晴れ 気温26℃ 参加者 26人 ヤマユリ最盛期で山に香りが漂うなかでの活動。 ● 作業/園内観察。西の山、広場の草刈り。救急箱の整理。歩道へ出た枝等の処理と清掃。車庫の塗装。ニラ収穫。標本用植物採集。 ● 観察/ヤマユリ、ホオズキ。		No.298 2016年 8月14日(日) 晴れ 気温25℃ 参加者 23人 甘いスイカが豊作。屋に試食し、半分ずつお土産に。 ● 作業/住宅地空き地草刈り。スイカ収穫。丸太運搬。カマ、ナタ砥ぎ。プランター作り。標本用植物採集。 ● 観察/クズ、ヒルガオ、ヘクソカズラ。	

5月10・24日(火) なな山めかいクラブ・木工
5月13日(金) 帝京大学大学院 教職研究科
「地球・生命・環境と人類」
5月20日(金) 帝京大学 人文社会系教養科目
「多摩の里山と人の営み」
5月27日(金) 帝京大学 人文社会系教養科目研修会
「メカイづくり」
6月4日(土) 南鶴巻小学校 なな山観察会

発行 なな山緑地の会
発行責任者 高木直樹
住所 多摩市和田 1394-13
ホームページ <http://www.geocities.jp/nanayamaryokuchi/>
編集委員 鎌田文雄 中原君代 飯田歩